事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

シートNo. 0423101	事務事業名	地域猫活動関係業務			部∙課∙係	環境経済部	生活環境課	環境係	
事業No. R010017	開始年度	平成29年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P1035	作成責任者 生活環境	課長	1/2ページ

		動は、不妊去勢手術による	一代限りの創	飼養や新し	い飼い主探	しにより、将	来的に地域から	飼い主のいない					R03年度	R04年度	
事業の目的	猫をなくし	ていくことを目的とする。									当初予算		840	630	
学未の口的											補正予算				
									予算額・	予算					
	地域猫活	動では、地域住民の合意を	得たうえで、	飼い主のい	ない猫の過	剰繁殖や糞	尿による被害等	を防止するた	執行額	状法	兄 翌年度へ繰越				
	め、地域信	主民のボランティア等を中心と	した活動グル	レープが行う	不妊去勢手	F術の実施や	や餌の管理、排え	世物の処理等	(単位:千円)		予備費等				
	の活動を作	テう。市は、活動グループ及て 援等を行う。また、福岡県は	プ地域住民に 古町村に	こ刈し、地場 対し、不妊=	ツ畑活期の↑ 井埶毛術费	首及・正有が 田の色田(1	又ひ過止化の文: poけ全類 poけ	援、个灶去勢			計		840	630	
事業概要	的な助言	、地域猫活動サポーターの派	、	援を行う。	431 NISC	/1100 Jeji (1	TEIO TER TOIO	1 100/ (12/15)			執行額		502	334	
											執行率(%)		60%	53%	
											歳入予算		R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)
			び管理に関する法律、福岡県動物の愛護及び管理に関する条例、福岡県地域猫活動支援事業乳							ΙĪ	国庫支出金				
根拠法令、	施要領、社	福岡県地域猫活動支援事	業補助金交	付要綱、小	、郡市地域?	苗活動支援	事業実施要綱			[県支出金		420	315	
関係計画、 通知等										1 7	使用料•手数料				
温みず										1 5	分担金·負担金等				
				24 /L	D00/E	D0.455	R05年度	R06年度			財産収入				
活動目標及び活 動実績1	活動指標	不妊去勢手術を施した地域		単位	R03年度	R04年度	活動見込	活動見込		1	繰入金				
刺失模! (アウトプット)	泊到拍保	猫匹数	活動実績	匹	22	19					諸収入				
()))			当初見込	匹	40	30					繰越金				
活動目標及び活				単位	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度			地方債				
動実績2	活動指標			+4	1100 1 12	110.112	活動見込	活動見込		L	一般財源		420	315	
(アウトブット)	72.507.11		活動実績						予算内訳		15 . I 5 lib	計	840	630	
		Mr. J. J. J. J. J. J.	当初見込	3771				L	(単位:千円)		歳出予算		R03年度	R04年度	R04年度の主な使途
		算出根拠	37/11 41/4 10	単位	R03年度	R04年度					委託料		840	630	
単位当たり			単位当たりコスト	千円	123.7	105.2				-					
コスト		単位:千円)	47/1				1 /								
7711	Y:地域猫U	匹数(単位:匹)	計算式	X/Y	2,722千円	1,999千円									
					/22匹	/19匹									
				単位	R03年度	R04年度	中間目標	目標最終年度	1						
	成果目標	猫の引取りをなくす			NUS平皮	NU4千度	年度	年度							
			成果実績	匹	12	3									
成果目標及び	成果指標	猫の引取り匹数	目標値	匹	0	0									
成果実績1			達成度	%	-				_	L		÷1	840	620	
(アウトカム)	補足説明	猫の殺処分をなくすため、北第	後保健福祉	環境事務所	における小郡	市からの猫の	引取りをなくす。			正服	* 吕	計	0.3	630 0.225	
										青			0.3	0.223	
	根拠とし	JT用いた タ名(出典) 環境省動物愛語	雙管理行政事	務提要					投入工数		+年度月額		0	0	
	IDEAT 7	7-1 (HZ)	,				T 88 D 4	口摇目他左左	(単位:人)				0	0	
	成果目標			単位	R03年度	R04年度	中間目標	目標最終年度		会計	十年度日額		0.30	0.23	
	以 果日標		成果実績				年度	年度		計	牛費合計(千円)		2,220	1,665	
成果目標及び			日標値		1						*養用(千円)		2,722	1,999	
成果実績2	成果指標		達成度	%							登等の修正(千円)		2,,22	1,000	
(アウトカム)	補足説明			ı		1	1				円)※人件費等修正後		2,722	1,999	
	IM ALDIUM								-				, ==1	, ,	<u>-</u>
		て用いた													
	統計・デー	タ名(出典)													

シートNo. 0423101	事務事業名	地域猫活動関係業務	部・課・係 環境	経済部 生活環境課	環境係	
事業No. R010017	開始年度	平成29年度 終了予定年度 終了予定なし	施策コード P103	5 作成責任者	生活環境課長	2/2ページ

項目		令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善
横日	評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。	0	令和3年度に全国の自治体に引き取られた犬猫は約5万9千匹で、このうち約43%は所有者不明の猫であった。また、引き取られた猫のうち約2万3千匹は、やむなく殺処分された。さらに、市に寄せられた猫に起因する苦情相談は増加傾向にあり、所有者のいない猫は急速に社会問題化している。	0	令和2年度に全国の自治体に引き取られた犬猫は約7万2千匹で、このうち約47%は所有者不明の猫であった。また、引き取られたりのうち約2万匹は、やむなく殺処分された。さらに、市に寄せられた猫に起因する苦情相談は増加傾向にあり、所有者のいない猫は急速に社会問題化している。
地域、民間等に委ねることができない事業なのか。	Δ	地域猫活動は、地域住民のポランティア等を中心とした活動グループが主体的に行う。一方で、市民から奢せられる猫に起因 する苦情相談をはじめ、活動グループや地域住民に対する地域猫活動の普及・定着および適正化の支援、さらに不妊去勢 手術の支援等については、行政が行う必要がある。	Δ	地域猫活動は、地域住民のボランティア等を中心とした活動グループが主体的に行う。一方で、市民から客せられる猫に起因する苦情相談をはじめ、活動グループや地域住民に対する地域猫活動の普及・定着および適正化の支援、さらに不妊去勢手術の支援等については、行政が行う必要がある。
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。 政策体系の中で優先度の高い事業か。	0	地域猫活動は、地域の「猫を助けたい人」と「猫に困っている人」とが、住みやすい生活環境を作るため、お互いに対立するのではなく、歩み寄ることにより、長期的な視点で地域から所有者のいない猫を減らしていくことを目的としており、所有者のいない猫を起因とする問題の有効な解決方法の一つである。	0	地域猫活動は、地域の「猫を助けたい人」と「猫に困っている人」とが、住みやすい生活環境を作るため、お互いに対立するのではない 歩み寄ることにより、長期的な視点で地域から所有者のいない猫を減らしていくことを目的としており、所有者のいない猫を起因とする 問題の有効な解決方法の一つである。
競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	0	「地域猫不妊去勢手術業務委託」は、契約の目的が競争入札に適さないため、公益社団法人福岡県獣医師会との随意 契約である。猫の不妊去勢手術は、獣医師のみが行うことができる特殊な性質を有するものであり、実施できるのは市内の動 物病院(4分所)が入会している当獣医師会のみである。	0	「地域猫不妊去勢手術業務委託」は、契約の目的が競争入札に適さないため、公益社団法人福岡県獣医師会との随意契約で、 る。猫の不妊去勢手術は、獣医師のみが行うことができる特殊な性質を有するものであり、実施できるのは市内の動物病院(4か所) 入会している当獣医師会のみである。
一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	初州版(4か別)ルプスとしいの日畝区即太ののしのの。	無	八太ししいの日歌 広即太ののしのの。
競争性のない随意契約となったものはないか。	無		無	
受益者との負担関係は妥当であるか。	0	地域猫活動は、所有者のいない猫が対象であって、所有者のいない猫であっても、動物愛護管理法によって愛護動物とされている。所有者のいない猫の問題の解消は、地域の生活環境の改善につながり、極めて公共性が高い。	0	地域猫活動は、所有者のいない猫が対象であって、所有者のいない猫であっても、動物愛護管理法によって愛護動物とされている。 所有者のいない猫の問題の解消は、地域の生活環境の改善につながり、極めて公共性が高い。
単位当たりコスト等の水準は妥当か。	0	動物の愛護、地域の生活環境の改善といった事業効果に比して、単位当たりコストは適正であると思われる。	0	動物の愛護、地域の生活環境の改善といった事業効果に比して、単位当たりコストは適正であると思われる。
費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定され ているか。	0	小郡市地域猫活動支援事業実施要綱に基づき、市は、地域猫活動を希望する活動グループに対して活動計画書の提出を求め、その内容を確認し適否を決定する。また、手術券交付申請書の内容を確認し適当と認めたときに、手術券を交付する。	0	小郡市地域猫活動支援事業実施要綱に基づき、市は、地域猫活動を希望する活動グループに対して活動計画書の提出を求め、 その内容を確認し適否を決定する。また、手術券交付申請書の内容を確認し適当と認めたときに、手術券を交付する。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に 記載)	-		-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われている か。	0	民間ボランティア団体との協働をはじめ、福岡県の地域猫活動サポーター派遣事業や公益財団法人どうぶつ基金のさくらねこ無料不妊手術事業の活用等、コスト削減や効率化に向けた工夫を行っている。	0	民間ボランティア団体との協働をはじめ、福岡県の地域猫活動サポーター派遣事業や公益財団法人どうぶつ基金のさくらねこ無料7 妊手術事業の活用等、コスト削減や効率化に向けた工夫を行っている。
活動実績は見込みに見合ったものであるか。	0	不妊去勢手術業務委託料として630千円(30匹分)を予算計上していたところ、県補助金の予算の都合で本市では1活動グループ(1地域)で地域猫活動を実施し、対象とした猫の全数(19匹/途中で死亡または行方不明になった猫を除く)の不妊去勢手術を行った。	0	不妊去勢手術業務委託料として840千円(40匹分)を予算計上していたところ、県補助金の予算の都合で本市では1活動グループ (1地域)で地域猫活動を実施し、対象とした猫の全数(22匹/途中で死亡または行方不明になった猫を除く)の不妊去勢手術を行 た。
事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと 比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	他の手段・方法等は考えられない。	-	他の手段・方法等は考えられない。
成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	Δ	地域猫活動によって、地域から飼い主のいない猫をなくしていくことで、将来的に猫の引取りをなくし猫の殺処分を減らしていくことができる。ただ、殺処分ゼロを達成するためには、行政のより一層の取組強化と併せ、市民の意識変革が必要である。	Δ	地域猫活動によって、地域から飼い主のいない猫をなくしていくことで、将来的に猫の引取りをなくし猫の殺処分を減らしていくことがて る。ただ、殺処分ゼロを達成するためには、行政のより一層の取組強化と併せ、市民の意識変革が必要である。
整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	0	活動グルーブは、不妊去勢手術後の地域猫の餌の管理や排泄物の処理等を行って、猫の繁殖や糞尿による被害等を防止している。	0	活動グループは、不妊去勢手術後の地域猫の餌の管理や排泄物の処理等を行って、猫の繁殖や糞尿による被害等を防止している。
関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を 行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載) 課名 連番	-		-	
事業名	<u> </u>			
点 檢 点検結果 ・ 改	から半 になり. 被害等	県地域猫活動支援事業補助金交付要綱が見直され、令和3年度から不妊去勢手術費用の補助割合が全額額になった。また、数年度先には補助金が廃止される予定のため、今後は事業費用の全額を市単費で賄うこと、本市の財政的な負担割合が大きくなる。しかし、地域猫活動は、飼い主のいない協つ過剰繁殖や糞尿による等を防止するための有効な方法であり、また、将来的に猫の引取りをなく猫の殺処分を減らなていくことに繋がる事業の継続は重要である。一方で、殺処分ゼロを達成するためには、市民の意識変革も不可欠と考える。	額にな 財政的 の有効	『地域猫活動支援事業補助金交付要綱が見直され、令和3年度から不妊去勢手術費用の補助割合が全額から半った。また、数年度先には補助金が廃止される予定のため、今後は事業費用の全額を市単費で賄うことになり、本市的な負担割合が大きくなる。しかし、地域猫活動は、飼い主のいない猫の過剰繁殖や糞尿による被害等を防止するたかな方法であり、また、将来的に猫の引取りをなし猫の殺処分を減らしていくことに繋がるため、事業の継続は重要であった。我処分ゼロを達成するためには、市民の意識変革も不可欠と考える。
善 結 果 改善の方向性	くらねこ	ドランティア団体との協働をはじめ、福岡県の地域猫活動サポーター派遣事業や公益財団法人どうぶつ基金のさ 無料不妊手術事業の活用、TNR活動における不妊去勢手術費用の補助制度の検討など、コスト削減や効 に向けた工夫を行うとともに、動物愛護管理法の趣旨に則った市民の意識変革を促す取組を推進する。	無料不	ジンティア団体との協働をはじめ、福岡県の地域猫活動サポーター派遣事業や公益財団法人どうぶつ基金のさくらね。 「妊手術事業の活用、TNR活動における不妊去勢手術費用の補助制度の検討など、コスト削減や効率化に向けた うとともに、動物愛護管理法の趣旨に則った市民の意識変革を促す取組を推進する。

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

シートNo. 0423201	事務事業名	ごみ減量リサイクルアト	ボバイザー活動事業	部·課·係	環境経済部	生活環境課	リサイクル推進係	
事業No . J000210	開始年度	平成13年度	終了予定年度 終了予定なし	施策コード	P1032	作 成責任者 生活環境課長		1/2ページ

		減量・分別に対する意識向										R03年度	R04年度	
]を促進すること、発生したご	みの正しい分	↑別・適正ク	処理を促進	し、市から発	生するごみの減	量を目的とす			当初予算	808	676	
事業の目的	る。										補正予算	0	0	
									予算額・	予算	前年度から繰越	0	0	
	小学校 は	学校、日本語学校、PTA、	行政区その	他市内団	木の構成員	(中民)に対	1. ごみ減量リ+	ナイクルアドバイ	執行額	状況	翌年度へ繰越	0	0	
		黄演・分別の実演その他依頼						7 1 2000 1 7 1 1	(単位:千円)	1/1/1/1	- 五千及八條 <u></u>	0	0	
									(+μ.113)					
事業概要											計	808	676	
											執行額	390	434	
											執行率(%)	48%	64%	
											歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)
		型理及び清掃に関する法律								国	庫支出金	0	0	
	小郡市廃	集物の減量化及び適正処理	里等に関する:	条例施行	現則(半成1	0年小郡市	規則第21号)第	月6条		県:	支出金	0	0	
関係計画、 通知等										使.	用料·手数料	0	0	
쁘까국										分	担金·負担金等	0	0	
							R05年度	R06年度			<u> </u>	0	0	
活動目標及び活				単位	R03年度	R04年度	活動見込	活動見込			入金	0	0	
動実績1	活動指標	講演実施回数	活動実績	П	13	17				10000	収入	0	0	
(アウトプット)			W. 4m (F) 33									-	-	
			当初見込		60	60	60	60		裸	越金	0	0	
				単位	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度		地	方債	0	0	
活動目標及び活	77 FL 415.47	=# \$5 \$4 1= ** #4		年12	RU3年度	R04年度	活動見込	活動見込		<u> </u>	般財源	808	676	
動実績2 (アウトプット)	沽 期 拍 標	講演参加者数	活動実績	人	473	1,029			予算内訳	l -	計	808	676	
()) 1)) 1)			当初見込	人	-	-	-	-	(単位:千円)		歳出予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な使途
		算出根拠		単位	R03年度	R04年度				報	賞費	808	676	ごみ減量リサイクルアドバイザー謝金
単位当たり コスト	総費用/講演	審実施 冋数	単位当たりコスト	円	86,923.1	69,058.8								
			計算式	X/Y	1,130,000/ 13	1,174,000/ 17								
	成果目標	家庭系ごみの排出量(市民1 人/1日)を令和12年度までに 502gまで引き下げる	成果実績	単位	R03年度 544	R04年度 526	中間目標 7 年度 -	目標最終年度 12 年度 -						
		-	以未夫粮 目標値	g	552	547	530	502		l —				
成果目標及び	成果指標	家庭系ごみの排出量(市民1 人/1日)	達成度	g %	101	104	- 330	-				 		
成果実績1					I					<u> </u>	計	808	676	
(アウトカム)	補足説明	家庭系ごみとしてクリーンヒル宝 度ごみ組成分析から算出((リ	『満に搬入され	ているごみを	令和2年度到 ************************************	ミ績から10%削 ハ ∨ 20%±ごュー	減する。10%の根: 減量5%) ニン	拠は、令和2年		丁 1944 三				
		文にの相以力制かり昇山((リ	9 T 7 IV PJ いこか	10.21%干脚	ハ [*] 大只 (∠ 1. 1 ∠ %	i/ へ ZU物でしめ	// / (人里 3/10/ 〒 2/			正職員	-	0.1	0.1	
	根拠とし	て用いた 令和2年度ごみ糸	且成分析検査	業務委託・こ	ごみ減量リサイ	′クルアドバイ±	ガー講演資料(生	ごみの80%は水	投入工数	再任月	Ħ	0		
	統計・データ	9名(出典) 分)							(単位:人)	会計年	F度月額	0		
							中間目標	目標最終年度	,		F度日額	0		
	成果目標			単位	R03年度	R04年度	年度	年度		計	口以口识	0.10	0.10	
			成果実績				1 /2	1 /2	人化	·春合計	(千円)	740	740	
	n m 14 :-		目標値							費用(1.130	1.174	
成果目標及び	成果指標		達成度	%							<u>,</u> [正(千円)	.,.00	.,.,	
成果実績2	14 D = 4 C D				I.						件費等修正後	1.130	1,174	
(アウトカム)	補足説明								1000111			.,.00	.,.,	
	根拠とし統計・データ	て用いた 9名(出典)												

シートNo. 0423201	事務事業名	ごみ減量リサイクルアドバ	イザー活動事業	部・課・係	環境経済部	生活環境課	リサイクル推進係	
事業No . J000210	開始年度	平成13年度	終 了予定年度 終了予定なし	施策コード	P1032	作成責任者 生活環境課長		2/2ページ

	項目		令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善
	坝 日	評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映している か。	0	小学校においては4年生の授業としてカリキュラムに組み込まれており、地域の活動として行政区からも多く依頼を受けている経過がある。また、ブラごみの削減などごみ減量・資源再利用などによる持続可能な社会の実現は社会全体の目標となっている。	0	小学校においては4年生の授業としてカリキュラムに組み込まれており、地域の活動として行政区からも多く依頼を受けている経過がある。また、ブラごみの削減などごみ減量・資源再利用などによる持続可能な社会の実現は社会全体の目標となっている。
栗の必っ	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。	0	家庭系ごみの適正処理は市の義務であり、分別方法については、各自治体独自のルールとなっているため、市が主体となって実施していく必要がある。	0	家庭系ごみの適正処理は市の義務であり、分別方法については、各自治体独自のルールとなっているため、市が主体となって実施していく必要がある。
生	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。 政策体系の中で優先度の高い事業か。	0	各自治体においても環境に配慮し、SDGsを達成するために積極的に取り組むことが求められている中で、ごみ減量と資源再利用の促進は優先度が高い事業である。	0	各自治体においても環境に配慮し、SDGsを達成するために積極的に取り組むことが求められている中で、ごみ減量と資源再利用の促進は優先度が高い事業である。
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-		-	
	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無		無	
ļ.	受益者との負担関係は妥当であるか。	-		-	
の効	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	×	コロナの影響で講演回数が減少したことで、令和4年度は単位当たりコストが高額となっている。	×	コロナの影響で講演回数が減少したことで、令和3年度は単位当たりコストが高額となっている。
车生	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	0	講演依頼者のニーズに合わせた啓発活動を実施しており、必要な対象者に必要な内容の講演を実施することができている。小学校においては、学校教育と連携することができている。	0	講演依頼者のニーズに合わせた啓発活動を実施しており、必要な対象者に必要な内容の講演を実施することができている。小学校においては、学校教育と連携することができている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に 記載)	-		-	
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に 記載)	-		-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	必要経費は、リサイクルアドバイザー謝金と職員人件費のみ。	-	必要経費は、リサイクルアドバイザー謝金と職員人件費のみ。
×	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	×	新型コロナウイルス感染症の影響により、講演回数が減少しており、コロナ禍前の講演実施回数まで回復して いない。	×	コロナの影響により、見込と実績に大幅な差が生じた。
E D	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと 比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-		-	
与助	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	0	令和4年度の目標値を達成しており、引き続き目標を達成するための取組を検討・実施していく。	0	令和3年度は、目標値を達成しており、引き続き目標を達成するための取組を検討・実施していく。
生	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-		-	
男	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を 行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載)				
	課名	-		-	
		要であ 法を検 るが、そ		要であ 法を検 現在、	 や社会からのニーズがある事業であるため、今後もより効果的な方策を継続的に実施していくことが必 ある。コロナの影響により、講演回数が大幅に減っているため、コロナ禍においても実施ができる講演方 食討する必要がある。 ごみ減量リサイフルアドバイザーは、各小学校区に1名(計8名)となっているが、その人選や育成がう かないことが多いため、アドバイザーの在り方を検討する必要がある。
	善 結 改善の方向性	が、それ アドバイ	や行政区にごみ減量リサイクルアドバイザーは認知されており、講演依頼が定期的に行われている ル以外の団体からの講演依頼は少ないため、効果的な周知方法を検討する。 (ザーの講演資料のマニュアルを作成し、経験年数の短いアドバイザーでも講演に取り組みやすいよ 対するとともに、選出の仕組みについても検討していく。	アドバ	中学校には、講演の実施について市から連絡をし、講演実施を促す。 イザーの講演資料のマニュアルを作成し、経験年数の短いアドバイザーでも講演に取り組みやすいよ 討する。

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

シートNo. 0423202		資源ごみ分別促進事	業		部·課·係	環境経済部	生活環境課	リサイクル推進係	
事業No . J000218	開始年度	平成22年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P1033	作成責任者 生	活環境課長	1/2ページ

		こよる資源ごみ分別活動の研	確立を図り、こ	ごみの減量	化と資源の	再利用を地域	域ぐるみで積極的	りに推進するこ				R03年度	R04年度	
事業の目的	とを目的と	9 බං									当初予算	15,406	14,874	
子木の口口											補正予算		3,523	
									予算額・	予算	前年度から繰越		0	
	ごみの分別	等に取り組んでいる団体小	郡市環境衛	生組合連合	合会の各区	衛生組合へ	還元金交付を行	うもの。	執行額	状況	翌年度へ繰越		0	
									(単位:千円)		予備費等		0	
											計	15,406	18,397	
事業概要											執行額	13.581	17.664	
											執行率(%)	88%	96%	
											歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)
	小郡市資	原ごみ売上還元金交付規則	III							玉	庫支出金	1100 1 12	0	10.1 DOZOZO DO 110 (11) (1)
根拠法令、	, mining										支出金		0	
関係計画、											用料・手数料		0	
通知等											担金・負担金等		0	
							R05年度	R06年度			在水子 连根人		0	
活動日標 12.75				単位	R03年度	R04年度	活動見込	R06年度 活動見込			<u>産収入</u> 入金		0	
活動目標及び 活動実績1	活動指標	資源ごみ回収量(還元金対	活動実績	t/年	2,036	1,860	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /		1000	収入	15,406	18,397	
(アウトプット)	7L =0.1 L 1/1/1	象品目のみ)										13,400	·	
			当初見込	t/年	2,465	2,285				繰	越金		0	
				単位	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度			方債		0	
活動目標及び				丰位	NOS千皮	NU4千及	活動見込	活動見込			般財源		0	
活動実績2	活動指標		活動実績						予算内訳 (単位:千円)		計	15,406	18,397	
(アウトプット)			当初見込								歳出予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な使途
		算出根拠		単位	R03年度	R04年度				負	担金、補助及び交付金	15,406	18,397	
単位当たり			単位当たり コスト	円/t	1,090.0	1,193.5				-				
	総費用/資	原物回収量	計算式	X/Y	2220000/2 036	2220000/1 860								
	成果目標	ごみ総量に占める資源ごみの		単位	R03年度	R04年度	中間目標年度	目標最終年度 R05 年度						
		割合の増加	成果実績	%	11	11	-	-						
成果目標及び	成果指標	ごみ総量に占める資源ごみの	目標値	%	-	-	-	15						
成果日標及U 成果実績1	/人不11信	割合	達成度	%	73	73	-	-			-			
(アウトカム)	補足説明	計算式:資源ごみ(還元金対	象品目のみ)	: ごみ総量	(資源ごみ含む	<u>(</u>	*	1##		L	計		18,397	
	1107-20077	※5年に1回ごみ処理基本計	画を作成し、⊨	標を設定し	ているので令	和5年度以降	峰の目標設定は体	1難		正職員		0.3	0.3	
	根拠とし	て用いた 小郡市一般廃事	観物(ごみ)処理	里基本計画	表4.4.2ごみ	排出量及び	処理・処分量の将	来推計値(減量	45. 7 44.	再任月	Ħ	0		
		9名(出典) 化十資源化実行		ごみの発生	総量(処理内	1訳)			投入工数 (単位:人)	会計4	年度月額	0		
				単位	R03年度	R04年度	中間目標	目標最終年度		会計组	丰度日額	0		
	成果目標			丰山	NUU十段	NUサ牛皮	年度	年度		計		0.30	0.30	
			成果実績								十(千円)	2,220	2,220	
成果目標及び	成果指標		目標値							費用(15,801	19,884	
成果実績2			達成度	%							正(千円)			
(アウトカム)	補足説明								彩賀用(干	H)※/	人件 費等修正後	15,801	19,884	
		T ア ア ア ス に 大 に に に に に に に に に に に に に												

シートNo. 0423202	事務事業名	資源ごみ分別促進事業	部・課・係	環境経済部	生活環境課	リサイクル推進係	
事業No . J000218	開始年度	平成22年度 終了予定年度 終了予定なし	施策コード	P1033	作成責任者 生活環境課長		2/2ページ

項目		令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善
7 F	評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映している か。	0	資源ごみの分別は、ごみの減量だけでなく、環境省が策定した環境基本計画で掲げられる循環型社会の形成に寄与するものである。	0	市内63全行政区で活動が行われており、多くの市民が活動に参加している。
地域、民間等に委ねることができない事業なのか。	0	資源ごみの回収・売却は、効率化・売却価格の観点から、市が一括して行っている。	0	分別の方法は市独自のルールによって決められており、啓発や回収方法など市がまとめて行うことで効率的に行うことができる。
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。 政策体系の中で優先度の高い事業か。	0	各衛生組合での資源ごみの分別等の促進は、市民へのごみの減量やリサイクル意識の更なる啓発・実践につながるものであり、市の目指す資源循環型の都市の実現を達成する手段として、重要な事業である。	0	ごみ減量や資源物のリサイクル促進はSDGsのように国を挙げて行っている事業である。
競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-		-	
一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		無	
競争性のない随意契約となったものはないか。	無		無	
■ 受益者との負担関係は妥当であるか。 ■ 単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-		-	
* 単位 ヨだリコスト等の水準は安ヨか。 	-		-	
費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	0	衛生組合の活動で回収した資源ごみの売却金を各衛生組合の回収量に応じて還元金として支出している。	0	衛生組合の活動で回収した資源物の売却金から各衛生組合の回収量に応じて還元金として支出している。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に 記載)	-		-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に 記載)	-		-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	回収量に応じた還元金の交付に要する事務のため、削減する余地はない。	0	各区へのごみ減量リサイクルアドバイザーの派遣や衛生組合への啓発を通して、市民一人ひどりの分別意識 の向上を図っている。
活動実績は見込みに見合ったものであるか。	Δ	新聞や書籍などの電子化に伴う発行数の減少やアルミ缶・スチール缶への資源物の使用量の減少などにより、資源こみの回収量は年々減少している。	Δ	資源物の製造数自体の減少などによって、見込みに対して実績が減少している。
事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと 比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。 0	0	各衛生組合が分別した資源ごみは、別々に行うよりも、市で一括して収集・売却した方かコストがかからず、 売却単価も高くなっている。	0	衛生組合と協力して事業を行うことにより、市ですべてを行うより、ごみの処分費の削減や資源ごみ売上金よる歳入が見込まれ、低コストで実施できている。
成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。 *	Δ	資源ごみの発生量が減少しているほか、分別されずにごみとして排出されているケースもあると考えられ、成果 目標に達していない。	Δ	資源物の製造数自体の減少などによって、目標に対して実績は少なくなっている。
整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	0	分別回収された資源ごみは、再資源化されている。	0	回収された資源物は売却され、再資源している。
関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載)				
課名	-		-	
事業名				
ā	必要が	みの分別回収は、ごみの減量だけでなく、国が掲げる循環型社会の形成のために、更に進めていく ある。今後、資源ごみの回収量は、製造自体の減少により、減少していくことも考えられるが、分別 こごみとして捨てられている資源ごみもあることから、分別の更なる徹底を図る必要がある。	である。	・ 減量やリサイクル促進は国を挙げての重要な課題であるため、今後も継続して進めていくことが必要 。資源物は環境問題の改善を踏まえ、企業が製造自体を減少させているため、回収量も減少して を後はいかに資源物をごみに混せずに分別して出してもらうかが重要になってくる。
善 結 果 改善の方向性		、広報やごみ減量リサイクルアドバイザーの講演を通して、啓発を行っていくとともに、資源ごみの分別 現状や分別の必要性など分別回収をなぜ行っているのか理解してもらえるように啓発を進める。		。ごみ減量リサイクルアドバイザーの講演を通して、分別の啓発を増加させる。また、対象団体のみが 市民全体に分別の意味を理解してもらい、啓発を進めていく。